

< H 3 0 施設調査票 対応版 >

平成 3 0 年度建設副産物実態調査
(再生処理施設の稼働実態調査 (施設調査))
エラーチェックツール利用方法

平成 3 1 年 2 月

目次

はじめに	1
エラーチェックツール利用方法.....	2

はじめに

過年度の建設副産物実態調査では、調査票への記入忘れや記入間違いが多く発生していることが判明しています。平成30年度建設副産物実態調査では、入力した際にエラー内容を表示する等の改善を実施し、間違いの防止に努めましたが、データ精度向上のためチェックする必要があります。

本書は、平成30年度建設副産物実態調査の調査票である「再生処理施設の稼働実態調査（以下、「H30施設調査票」という。）」にご記入いただいたエクセルデータをチェックするツールの利用手順について記載しています。

調査票記入者はエクセルデータを提出する前に、チェックツールを実行し、エラーの確認及び必要に応じて修正してください。

提出時には、エラーをなくしてご提出くださいますようお願いいたします。

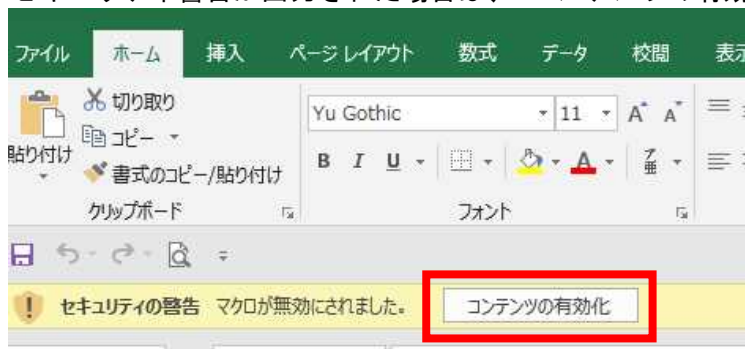
提出後、エラーが残っている場合や不明な点がある場合は、事務局より確認及び修正依頼の連絡をさせていただきます。

エラーチェックツール利用方法

1. エラーチェックツールを開く

入手した「施設調査エラーチェックツール.xlsx」を開きます。

セキュリティ警告が出力された場合は、「コンテンツの有効化」をクリックします。



2. エラーチェック対象フォルダを選択

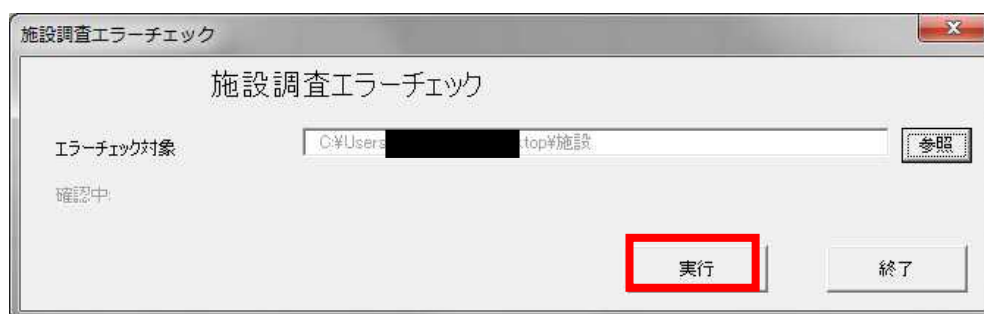
「H30施設調査票」で作成したエクセルファイルが保存されているフォルダを選択します。(個別のエクセルファイルは選択できません。)

対象となるフォルダは、右にある「参照」ボタンをクリックし、選択することができます。

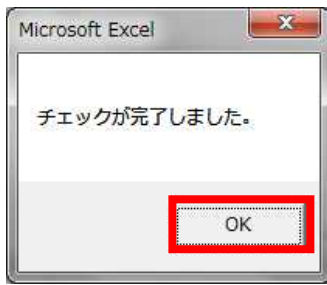


3. 実行ボタンをクリック

フォルダを選択したのち、実行ボタンをクリックします。



4. チェック完了の「OK」クリック



5. 結果出力

シート「一覧」にエラーチェックしたファイルの概要が出力されます。

エクセルファイルを保存してください。ファイルの名前や保存場所は任意です。

エラーチェックリスト		シート一覧							
シート名	エラー数	ファイル場所							
s3	1	C:\Users\	¥D esktop¥施設¥東京.xlsx						
s4	2	C:\Users\	¥D esktop¥施設¥大阪.xlsx						
s5	2	C:\Users\	¥D esktop¥施設¥京都.xlsx						
s6	1	C:\Users\	¥D esktop¥施設¥奈良.xlsx						
①	②	③							

①シート名 : セルをクリックすると各ファイルの詳細エラーに移動します。

②エラー数 : エラーの個数を表示します。

③ファイル場所 : エラーチェックを実施したファイルの場所やファイル名を表示します。

6. エラーの修正

各シートにあるエラーについて、エラー内容を参考に確認及び必要に応じて修正します。